

Press release

荒川河川下ガス管推進工事完了・ガス導管の強靱化へ

2024年5月14日、武州ガス株式会社（本社：埼玉県川越市 社長：原 敏成）は寄居町から深谷市まで荒川推進工事完了後のバルブ開放を行いました。

この荒川推進工事は、2023年3月に着工、荒川の南北の中圧ガス管をループ化することによる導管網の強靱化と、荒川以北のさらなる需要開発に向けた供給能力の拡大の2点を目的としています。

一級河川である荒川河川下を横断する大規模工事で、推進作業は推進機の前面にカッターを装備し、泥水を掘進機先端の切削部に加圧送水することで土圧、水圧に対抗し、切羽崩壊を防止しながら掘進する泥水式セミシールド工法（ユニコーンロング工法）で行い、配管作業は、ガス管に浮力を与えて摩擦抵抗を少なくする押し込み工法（FT工法）で行いました。

推進管（鞘管）はヒューム管1,000mm、ガス管はPLP鋼管400mm。

推進延長は369.9メートル、配管延長は400.8メートル、推進工事の施工期間は2023年3月から2024年1月までの10か月でした。



<本件に関する問い合わせ先>
埼玉県川越市田町32番地12
武州ガス株式会社
担当：企画チーム
TEL 049-241-9590